



江東区のスペシャル ニーズのある幼児児童 生徒の 療育と保育と教育 について

江東区学校歯科医会
スペシャルニーズ委員会委員長
小川伸子

世界の教育の潮流

インクルーシブ教育（インクルージョン教育）（包括的教育）

障害のある者とない者が共に学ぶことを通して共生社会の実現に貢献（2006年国連「障害者の権利に関する条約」）

合理的配慮が必要（知ること）

小さい頃からいろいろな人たちと共に生活することはいいことだと思う

「合理的配慮に基づく歯・口の健康づくりー特別支援を要するすべての子どもたちーへ」

2015年日本学校歯科医会

障害の概念 国際生活機能分類(2001年)

人間の生活機能（心身機能・身体構造、活動、参加）は健康状態と環境因子に影響される。

スペシャルニーズ教育

（1994年サラマンカ声明 UNESCOとスペイン政府）

障害のある子どもに限定せず、また特別な場に限定されない広く特別な教育的ニーズへの教育施策をすすめるというスペシャルニーズ教育の理念・原則

障害のある人に関する法体系

障害者基本法 1970年公布 2012年改正 障害の定義 共生社会の実現 差別禁止
雇用、保健、地方公共団体の役割

障害者総合支援法（旧障害者自立支援法）2012年

障害のある人への福祉サービスの提供について整理した法律

障害者虐待防止法 2012年

障害者差別解消法 2013年

Cf. 国連障害者権利条約（「2006年国連で採択）2014年日本が批准141番目

発達障害者支援法 2005年

改正教育基本法 2007年 特殊教育から特別支援教育へ

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律 2021年

児童福祉法 1947年 障害の有無で分けていない。
障害児支援の基本理念

江東区の障害者施策（障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画2018年）

基本理念

1. 共生社会の実現
2. 生活の質の向上
3. 障害者の自立支援

基本目標④（障害のあるこどもに対して）配慮を必要とするこどもの支援体制の充実

障害のあるこども一人ひとりに適した教育や支援が提供できる体制の充実を図ります。医療的ケアや発達障害の支援を必要とするこどもへの、地域における支援体制を強化していきます。

施策の柱→施策

- （1）乳幼児や就学前児童などに対する健診及び相談の充実
- （2）療育・保育・就学前教育の充実
- （3）特別支援教育体制の充実
- （4）放課後対策の充実

様々なスペシャルニーズ

通常の学級に在籍する小中学生で、発達障害の可能性のある児童生徒の割合

(2022年文部科学省調査)

小学生	10.4%
中学生	5.6%
高校生	2.2%

2012年の調査から2.3ポイント増加。

(小泉信隆先生よりの情報)

江東区の現状 (江東区データブック2022より)

不登校児童・生徒数の推移 (人)

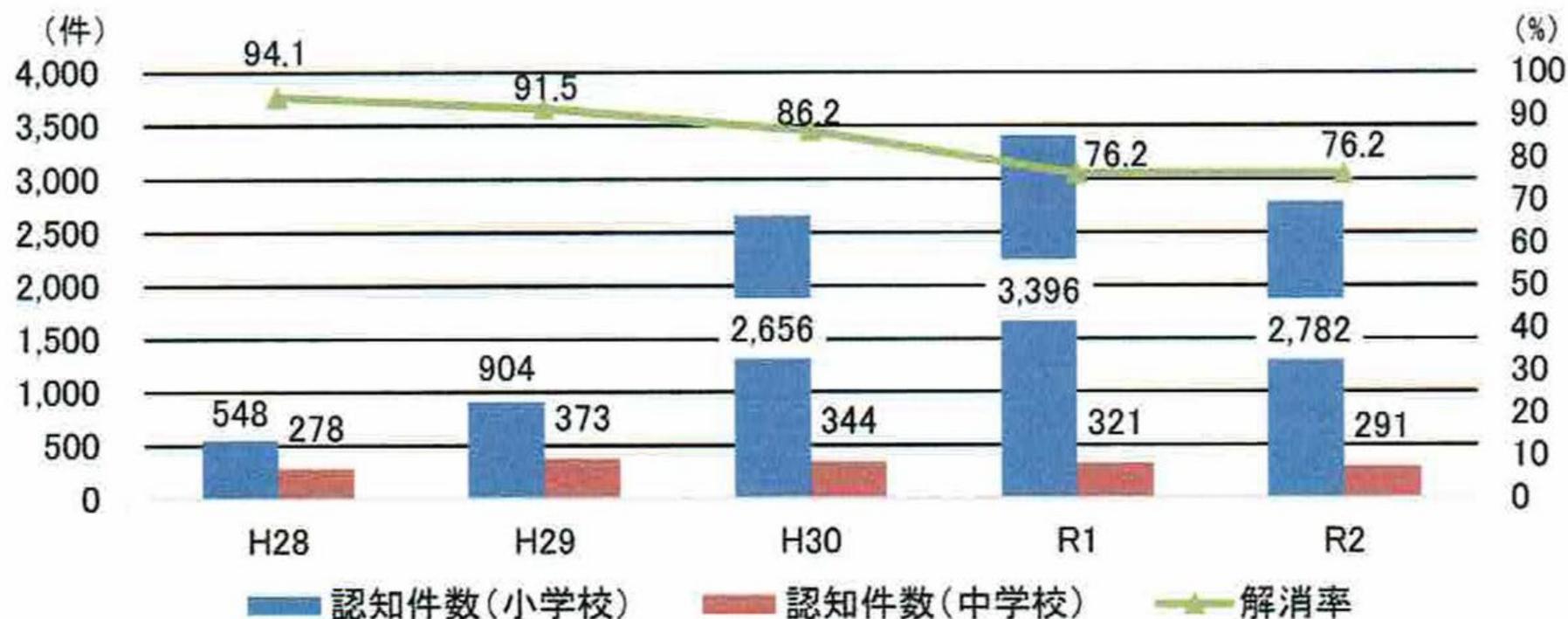
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校	101	118	145	172	217	231
中学校	221	307	280	327	351	399

児童虐待相談対応件数

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対応件数	新規	465	511	612	684	786
	継続	253	288	310	568	626
計		718	799	922	1252	1412

2-16 いじめの認知件数と解消率の推移

(各年度4月～3月計)



※ 解消率とは、同一年度内に発生したいじめについて、年度末日時点において「解消している状態」になっている割合。

また、「解消している状態」とは、少なくとも、以下の2つの要件が満たされている状態。

- ① いじめが止んでいる状態が相当期間（少なくとも3ヶ月程度）継続している。
- ② 被害児童・生徒が、すでに心身の苦痛を感じていないと認められること。

江東区の児童通所支援事業

児童通所支援事業とは

心身に障害がある、発達に心配がある（集団活動に参加するのが苦手、環境変化への適応が苦手、気持ちの切り替えが難しい等）児童を対象とした、児童福祉法に基づく通所支援事業

児童発達支援、放課後等児童デイサービス、保育所等訪問支援、医療型児童発達支援、居宅訪問型児童発達支援

1. 児童発達支援

未就学の障害児を対象に、日常生活における基本的な動作、知能・技能の付与、集団生活への適応訓練その他の必要な支援を行う。**29施設**

2. 放課後等デイサービス

障害のある学齢期児童が学校の終了後や学校休業日に通う、療育機能、居場所機能を備えた福祉サービス。**47施設**

公設民営

江東区こども発達センター（塩浜CoCo）

江東区こども発達扇橋センター（扇橋CoCo）

運動・ことば・社会性などの発達に支援が必要なこども達への計画相談、児童発達支援センター、保育所等訪問支援、相談事業を行っている。

幼稚園、保育園には障害や発達に支援が必要なこどもも通園している。

	施設数	障害児保育
区立	28	28
公設民営	16	16
私立	132	132
認定こども園	4	4
小規模	18	18
合計	198	198

一人一人の子どもの能力や可能性を最大限ひきだすために
(「江東区教育委員会就学相談のご案内」から)

- ・ 医師から知的障害の診断または疑いがあると言われた。
- ・ 発達障害（ADHD・ASD・LD等）の診断または疑いがあると言われた。
- ・ 多動のため、外出時に手をつないでいないと危険な時が多い。
- ・ 集団活動に参加することが苦手でうまく参加できない。
- ・ 集中できること、できないことの差が大きい。
- ・ 環境の変化への適応が苦手である。
- ・ 興味・関心の幅が狭いように感じる。
- ・ こだわりやパニックなど気持ちの切り替えが難しい。

小学校特別支援教室「ひまわり教室」 中学校特別支援教室「つばさ教室」

通常の学級での学習に概ね参加でき、知的障害を伴わない発達障害（ADHD・ASD・LD等）または情緒障害（選択性緘黙等）のため一部特別な指導を必要とするお子さんのための指導の場。

拠点校の教員による巡回指導方式。週1回2時間程度。個別指導や小集団指導 全小中学校

言語障害・難聴通級指導学校（ことばときこえの教室）南陽小学校

通常の学級に在籍し、週1回程度通う。

自閉症・情緒障害特別支援学級（小学校「すまいる学級」中学校「C組」）

南砂小学校 南砂中学校

知的発達に遅れがなく、自閉症や情緒障害等の児童・生徒が在籍する、少人数の固定学級

知的障害特別支援学級（小学校「仲よし学級」・中学校特別支援学級）

軽度の知的発達の遅れがあり、人との意思疎通に軽度の困難があり、日常生活において一部援助が必要なお子さん。少人数の学級編成。

平久小、東陽小、元加賀小、東川小、豊洲小、有明小、枝川小、香取小、第二大島小、第五大島小、第五砂町小、小名木川小、東砂小

深川一中、深川四中、深川八中、有明中、亀戸中、砂町中、第四砂町中

様々な高等学校

中高一貫校

チャレンジスクール

小中学校での学校生活になじめなかったり、自分の個性や能力を発揮できなかったけれど、もう一度はじめからチャレンジしたいという生徒を応援する学校

午前中から学べる三部制の定時制の単位制高校

大江戸高等学校

エンカレッジスクール

これまでの学校の学びのスタイルでは力を発揮できない・うまくいかない生徒のやる気を育て、社会生活を送る上で必要な基礎学力を身につけさせることが目的。全日制、学年制、普通科（専門学科）

足立東高等学校

都立特別支援学校

都立墨東特別支援学校（小、中、高） 伊藤裕通先生

肢体不自由教育部門（通学・在宅・分教室）

病弱教育部門（病院・分教室）

都立臨海青海特別支援学校（小、中） 生川寛之先生

知的・自閉性障害

都立城東特別支援学校（小、中） 小川仲子先生

知的・自閉性障害

都立江東特別支援学校（高校） 小泉信隆先生

知的・自閉性障害

都立大塚ろう学校城東分教室（幼稚園、小） 濱口文明先生

アンケートの結果（回答率77%）

問1. 特別支援学級（なかよし学級など）がありますか

ある 19 ない 32 不明 2

問2. 特別支援学級はないが、通常の学級に特別支援が必要な児童生徒がいますか

はい 12 いいえ 22 不明 1

問3. 特別支援学級や特別支援が必要な児童生徒に対して、歯科検診や歯科保健教育で特別な配慮をしていますか

している 11 していない 21

問4. どのような配慮をしていますか

- ・時間をかけ、養護教諭や歯科衛生士に介助してもらう（ない）。
- ・個別の検診（ない）
- ・その子の状況に応じた対応、声掛けなど（TSDなど）。ライトなどへの刺激の過敏がある時、ライトを控えめにする（ある）
- ・検診前になかよし学級の先生と話し、ひとりひとりの検診に時間をかける。（ある）
- ・児童の特性に応じて種々様々な対応。（ない）
- ・特別学級の口腔保健指導（前学校にて）（ある）
- ・はみがき指導。（ある）
- ・学校側の要望に対応。（ある）
- ・検診時、充分時間をかけて対応している（ある）
- ・個別に検診（ない）
- ・一人一人の口腔内状態を担当教師に伝えている（ある）

アンケートの結果

問5. 特別支援学級や特別支援が必要な児童生徒に関しての情報を養護教諭や担任と共有していますか
している 17 していない 15

問6. スペシャルニーズ委員会への要望

- ・ ADHDなどのお子さんへの適切な対応が今一つわからないので教えてほしい。
- ・ 支援学級生徒への対応の方法など教えていただけるとありがたいです。
- ・ 会員誰もが、スポットでも委員会に出席できるシステムにしてほしい。
- ・ いずれ勉強したいです
- ・ 養護教諭の先生ともお話しましたが、普通学級に通学させたい親御様が多いようです。グレーゾーンはとても難しいと思いますが、一般学生への配慮も必要と思われる場合は、親御様のご理解が今後必要とされると考えます。
- ・ 今後のスペシャルニーズについての情報を教えてください。
- ・ 特別な支援とはどのような事を行うのか？講習会を開催してほしい。
- ・ よい委員会になりますように、がんばりましょう！

1. 当院を受診している特別支援学級在籍生、保育園園児の例

◎歯みがきが上手にできない

歯肉炎、口臭がある。

発達性協調運動障害の可能性

◎知的発達遅滞の可能性を感じた園児

2. 当院を受診している普通学級在籍の不登校の児童

不登校の児童生徒にとって、歯科医院は社会との接点になりうる。

普通学校に在籍する児童生徒の自尊感情の尊重、育成